

第11回全国和牛能力共進会にむけて

— 上位成績を目指し、県内和牛関係者が一丸 —

畜産研究所

平成29年9月に、第11回全国和牛能力共進会が宮城県で開催されます。
本県では前回大会である平成24年長崎大会で初めて全区(第1区～9区)への出品を果たしたところであり、来たる大会ではさらに上位の成績を目指して県内和牛関係者が一丸となって取り組んでいます。
ここでは、特に当所が深く関わる第1区、第8区、第9区について紹介します。

共進会について

全国和牛能力共進会：和牛の能力と斉一性の向上を目指して、5年に1度開催される全国規模の共進会

出品は9区分

第1区(若雄)

第2区(若雌1)

第3区(若雌2)

第4区(系統雌牛群)

第5区(繁殖雌牛群)

第6区(高等登録群)

第7区(総合評価群)

第8区(若雄後代
検定牛群)

第9区(去勢肥育牛)

主催 公益社団法人全国和牛登録協会

運営団体 第11回全国和牛能力共進会宮城県実行委員会

参加 全国39道府県

大会のテーマ 「高めよう生産力 伝えよう和牛力 明日へつなぐ和牛生産」

注目の出品区

第1区：若雄

- ◆出品対象は生後15～23か月齢の種雄候補牛。
- ◆県内改良組合や、和牛改良技術部生産の雄子牛の中から血統や体型、母牛の能力等を参考に1次選抜。
- ◆その後、和牛改良技術部内で8～12か月齢の発育や体型等を審査し、最終的に1頭を選抜。

さらに、共進会会場においても堂々と審査を受けられるよう、当部の職員が特に力を入れて調教し、本番に備えます。

第1区



研究員による雄子牛の選抜
(第1区への出品候補となる)

第8区・第9区：肉牛部門

各県の種雄牛の能力比較の場

- ◆第8区：今後の活躍が期待される新規の種雄牛。
- ◆第9区：現在活躍中の種雄牛。
- ◆実際の審査は、種雄牛の産子(肥育牛)の肉質を競う。

第8区



孝花平(たかはなひら)



広清(ひろきよ)

第8区には、「第1花園」の後継牛である「孝花平」と、本県と友好関係にある岐阜県の「白清85の3」産子となる「広清」のいずれかを出品することが決まっており、現在、産子の肥育指導を行っています。

第9区



基幹種雄牛「平安平」

第9区には、県基幹種雄牛「平安平」、「光茂」、「優福栄」の産子の中から、2頭を出品する予定です。



- ◆肉牛部門の出品牛の選抜の際には、当研究所の超音波肉質診断装置を用い、肥育期間中における肉質推定を随時行います。
- ◆また、血液分析結果等を併せて出品牛の絞込みを行うことになっています。



超音波肉質診断装置による
肉質推定

お問い合わせ

畜産研究所 和牛改良技術部 (TEL0173-26-3153)